

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和7年 3月 1日

事業所名：児童発達支援事業所 りんくす

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		スペースは確保できている	
	2 職員の配置数は適切である	○		適切である	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		段差等もなく、ゲージ等もし安全面にも気を付けている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		静と動の空間を確保し利用者の方にとって活動しやすい場をご提供している	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		PDCAのサイクルを回し各々情報を共有して支援を行っている。	効率的な情報共有ができるようにSNSなどを活用していく
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		連絡帳やお手紙でも情報を共有させて頂いております。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公表している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		作業療法士の指導の下支援を行っている	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修は月一行っている	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画書、アセスメント、モニタリングは必ず実施している	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用している	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者はもちろん相談支援さんとも蜜に話をし必要な項目は必ず取り入れている。	5領域を意識し支援内容も策定している
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画書に沿って行っている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		全員で行っている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		いくつかのプログラムを用意し総体的に判断しその日の支援内容を定める	今後も作業療法士含めより効果的な支援内容を立案していきたい
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		作成している	定期的に更新も行っている
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝と帰りに行っている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		行っている	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		必ず提供内容は記録し、検証改善を行っている		

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に見直しをしている	保護者の方にもっと分りやすくお伝えが出来るように取り組んでいく
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		必要に応じて作業療法士も交え会議は行っている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健師さんはもちろん教育委員会さんとも連携をとって支援をおこなっている	今後はもっと地域の期間とも連携していきたい
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		医療的ケアが必要な方の受け入れを行っていない	今後体制を整え検討する
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な方の受け入れを行っていない	今後体制を整え検討する
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報は行えている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要であれば学校とも連携している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		積極的に研修は参加している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		現在はしていない	今後は交流する機会を作りたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	○		地域で行われている会には参加している	他の地区等でも参加できればと思っている
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳やお手紙等でも情報を共有しており共通の認識をもっている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		実施できていない	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		必ず同意してもらい通所頂いている	定期的に内容の見直しを行っている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		可能な限りお答えし解決に向け支援を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		できていない	交流の機会を作っていきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速な対応を心掛けている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動報告のお便りをだしている	分かりやすく作成するように心掛けている
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		注意している	書類の整理や機密保持には今後とも気をつける
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		配慮している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域に合わせた内容で運営している	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	BCPを策定し簡単に内容を周知している。定期的に訓練を行っている	内容をもっと分かりやすくしていきたいと思っている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	定期的に避難訓練を行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	入所前に必ず状況の確認を行っている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	医師の指示書に従い支援している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	作成している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	月一研修を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	ご了承頂いた上で身体拘束の説明はしている	